

生き物の声をAIが分析！

木もれびの森でAIを使用した実証実験を実施します

市内の市街地の中に広がる、まとまりのある樹林地の「木もれびの森」に、どのような生き物が生息しているのかを把握し、森づくりや生物多様性の保全に生かすために、音声AIを活用した生物モニタリングの実証実験を株式会社奥村組と共同で開始しました。



モニタリング機器と太陽光発電システム



収音マイク

1 実施期間

令和9年3月までを目途に実施し、検証結果を踏まえて継続の判断を行う予定です。

2 場所

木もれびの森(南区大野台8丁目)

※アクセス 古淵駅から徒歩20分(駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。)

3 実証実験について

生物の音声を24時間連続で収集し、AIによる種の判定(鳥類を中心に哺乳類、両生類、昆虫など)を行います。人手によるモニタリング調査などの従来の調査と比較して、音声AIを活用した生物多様性モニタリングの適用可能性について検証します。

4 実証試験で期待される効果

本市では、2018年から市民協働により市内に生息・生育する生物の調査を継続的に実施しています。既存の調査に加えて、音声AIを活用したモニタリングによって得られたデータを蓄積し、そのデータを可視化して、生物の生息状況や変化をわかりやすく伝えることで、生物多様性の普及啓発につなげる方法について検討します。

5 取材について

問合せ先へご連絡ください。

木もれびの森について

大野台・大沼・麻溝台地区周辺に広がるまとまりのある樹林地で、首都圏において良好な自然環境を有する貴重な緑地であり、多様な生物の生息・生育しています。

株式会社奥村組について

環境保全に関することを含む7つの事項について、2024年8月に本市と包括連携協定を締結しました。本実証実験はこの協定に基づき、生物多様性の保全に資する取組として実施するものです。



問合せ先

水みどり環境課

直通電話 042-769-8242

木もれびの森の

いきものの声 を調べています



鳥の声

AIを使った生物モニタリング実施中！

この森では、鳥や虫、カエルなどの鳴き声を録音し、AI(人工知能)が種類を判定することで、森に暮らすいきものの様子を調べています。森の自然を未来に引き継ぐための大切な取り組みです。



虫の声

出典：相模原市、
木もれびの森パンフレット、
NPO相模原こもれび
「木もれびの森博物誌」より

調査のしくみ

①音を集める



森の中で、鳥や虫などの声を24時間録音します。
※人の声を記録・公開することはありません。

②AIが調べる



AIが録音した音を分析して、どんな生きものの声かを判定します。

③森の変化を知る



季節や年ごとの変化を見て、森の生物が守られているかをチェックします。

④自然を守る



調査の結果を、森の保全や環境教育などに役立てていきます。

野生動物調査のためのカメラを設置しています。通行時に足元のみが記録される場合があります。ご了承ください。